



学校だより

流山市立西初石小学校
 校長 塩野 述子
 在籍児童数 774名
 教育活動アンケート特別号
 令和3年 2月 1日

教育活動アンケート集計結果・考察特集

今回の学校だよりでは、令和2年11月27日～令和3年1月5日に実施しました、教育活動アンケート調査の結果とその考察についてご報告いたします。

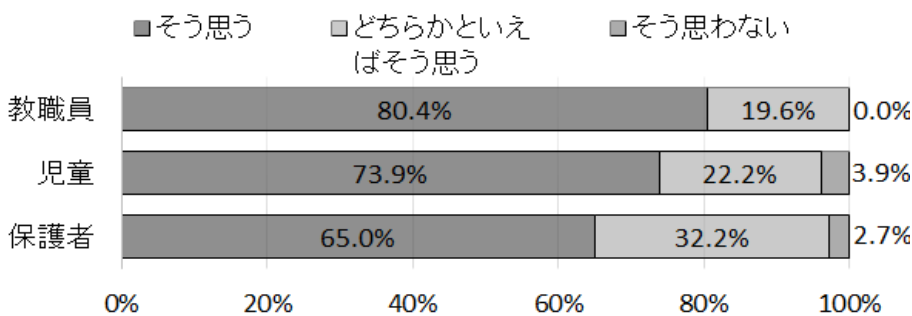
児童についてのアンケートは、全校児童773名を対象にアンケート用紙を配付し、765名が回答（回答率99.0%）しました。

保護者の方からは全家庭594件中、559件より回答をいただき、回収率は94.1%でした。

今年度はSch!TMailを利用し、回答をお願いいたしました。初めての試みではありましたが、保護者の皆様にご協力していただき、昨年度よりも高い回収率となりました。ありがとうございました。

1 結果と考察

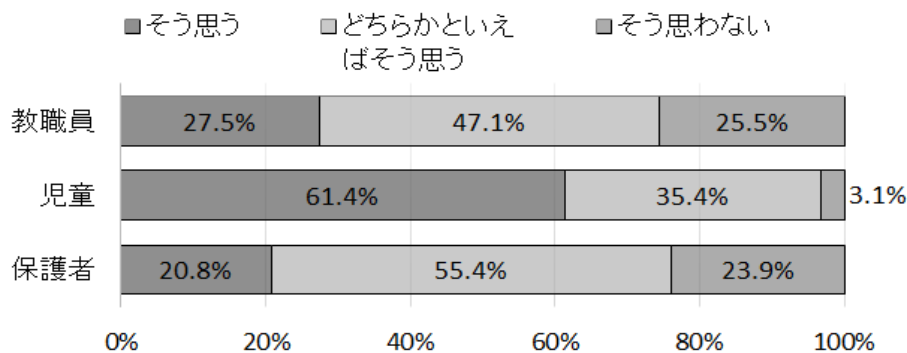
(1) 教職員・児童・保護者：楽しく学校に通っていると思いますか。



保護者の回答の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計では過去5年間で最も良い結果でした。児童の回答では昨年度、一昨年度より0.4%～0.7%下回りました。その中で児童も保護者も「どちらかといえばそう思う」の割合が増加している点が課題と考えています。どの子も楽しく通える学校を目指し、温かい声かけや、学ぶ楽しさを感じる授業、個に応じた対応等に、今後も力を注いでいきたいと思ひます。

(2) 教職員・保護者：西初石小学校の児童は、あいさつをよくしていると思いますか。

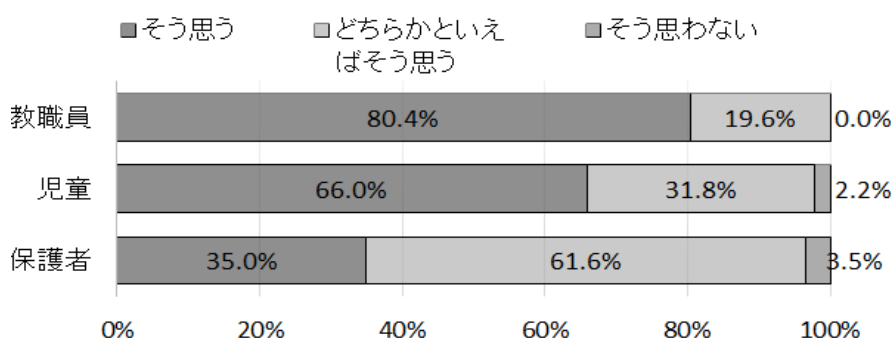
児童：あなたは、友達や先生、地域の方によくあいさつをしていますか。



児童の結果に比べ、教職員や保護者については、全設問の中で「そう思う」が最も低く、昨年度と比較しても、大きく下回った項目です。ただ、多くの児童が「あいさつをしている」と思っています。コロナ禍において、日常的なマスクの着用、大声を控えている実情等、周囲から見ると、どうしても評価が下がってしまう項目だと思います。大人から手本となる「良いあいさつ」を指導し、向上を目指していきたいと思ひます。

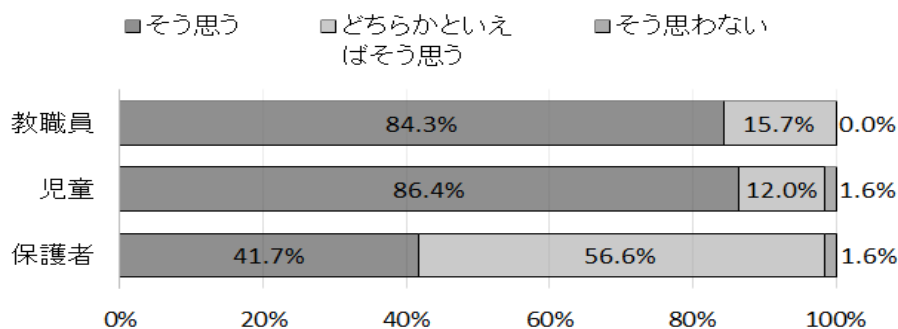
(3) 教職員・保護者：学校は、思いやりや社会性を育てようとしていると思いますか。

児童：あなたは、クラスや学年、学校の約束を守り、友達と協力していますか。



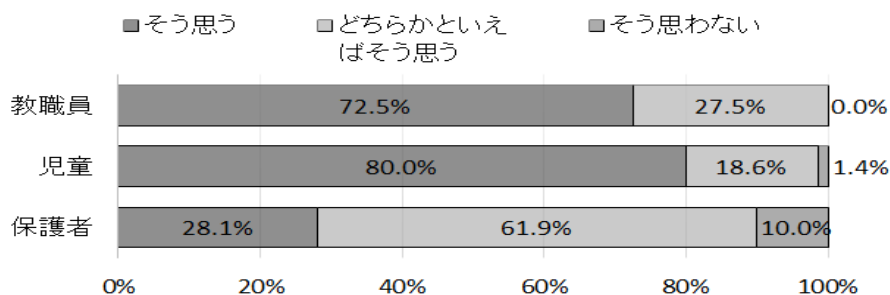
今年度は、コロナ禍での感染拡大防止のため、本校の特色でもあった「ふれあい学級」等の交流活動が実施できず、学年ごとの交流やクラスを超えた学年内の交流と、規模を縮小して行いました。昨年度までの取り組みができなかったことが、児童と保護者の回答から「そう思う」が減少している原因であると考えられますが、今後も状況は大きく変わらないことを考え、子ども達に社会性を身につけさせるための活動を工夫し、実施していきたいと思ひます。

- (4) 教職員・保護者：学校は、学年に応じたわかりやすい授業を行っていると思いますか。
 児童：先生は、わかりやすく授業をしてくれていますか。



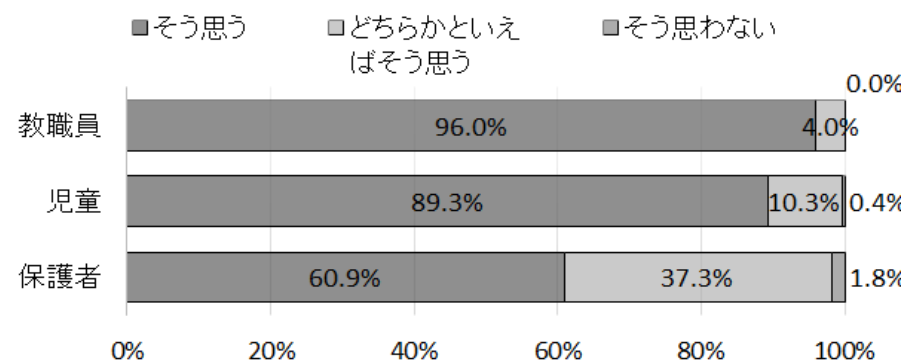
保護者の「そう思う」が最も高かった設問です。今年度は様々な場面でICTを取り入れた指導を行ってきました。また、全校での授業研究による教師の授業力の向上を図る取り組みや高学年の交換授業、サポート教員・算数指導員・ALT・英語活動指導員・少人数指導教員等の活用等、さまざまな方法でわかりやすい授業づくりに努めていることが、伝わったと感じます。今後も、授業力の向上に努めていきます。

- (5) 教職員・保護者：学校は、個の特性に応じた支援をしていると思いますか。
 児童：先生は、あなたの気持ちや力に合った手助けや指導をしてくれていると思いますか。



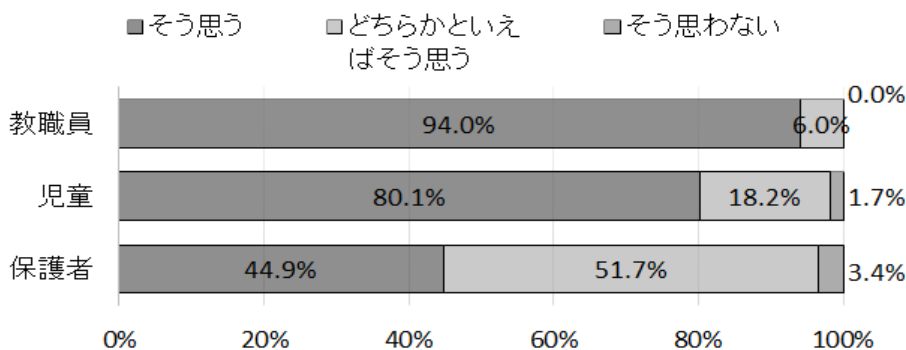
児童の肯定的な回答が年々向上しており、今年度は98.6%となりました。しかし、保護者の「そう思わない」の回答が、10%となっています。本校では、個別の指導計画の作成、サポート教員・指導員による支援、専門家の助言・指導等、必要に応じて個への特別な支援を行うように努めています。今後も保護者との協力・連携のもと、子どもたちの支援について、研鑽を積んでいきたいと思ひます。

- (6) 教職員・保護者：学校は、子どもの安全を守るように努めていると思いますか。
 児童：あなたは、避難訓練などで、自分の身の守り方がわかりましたか。



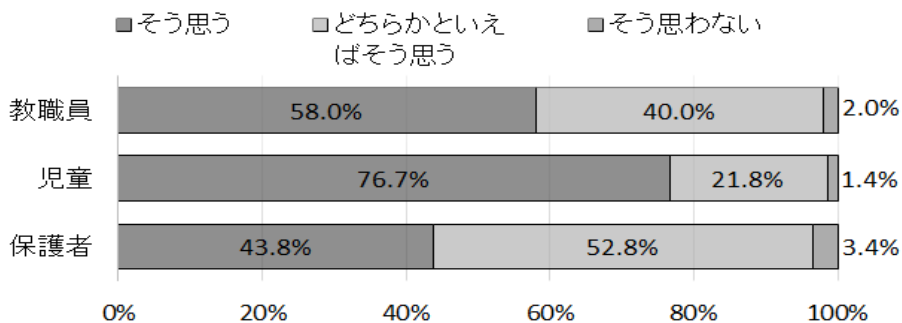
特に今年度は、新型コロナウイルス感染症対策を工夫して行い、児童が自分の身は自分で守る力を身につけるために発達段階に応じた指導を心がけていることが、児童・保護者の肯定的評価が最も良かった一因であると感じます。例年実施している消防署や警察署と連携した活動はできませんでしたが、防災教育・交通安全教育、弾道ミサイルへの対応訓練等を実施しています。下校時の安全指導では、保護者や地域の皆様のご協力に感謝しています。今後ともよろしくお願ひいたします。

- (7) 教職員・保護者：学校は、お子さんや保護者の皆様、地域の皆様の話を丁寧に聞こうとしていますか。
 児童：先生は、悩みごとの相談にのってくれたり、いろいろな話を聞いてくれたりしますか。



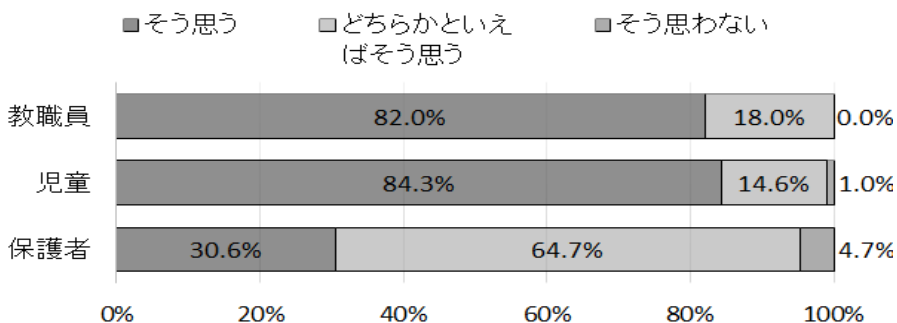
保護者の回答では、過去5年間で向上を図ってきましたが、児童については昨年度より0.5%下回りました。子ども達からの相談が、よりしやすい環境づくりに取り組んだり、定期的にアンケートを実施して悩みごとの解消に努めたりしながら、今後も丁寧に対応していきたいと思ひます。何かありましたら、ご遠慮なくご相談ください。

- (8) 教職員・保護者：学校は、施設や設備等の教育環境を安全できれいに整えていると思いますか。
 児童：あなたは、一生懸命にそうじをして学校をきれいにしようしたり、学校のものを大切に使ったりしていますか。



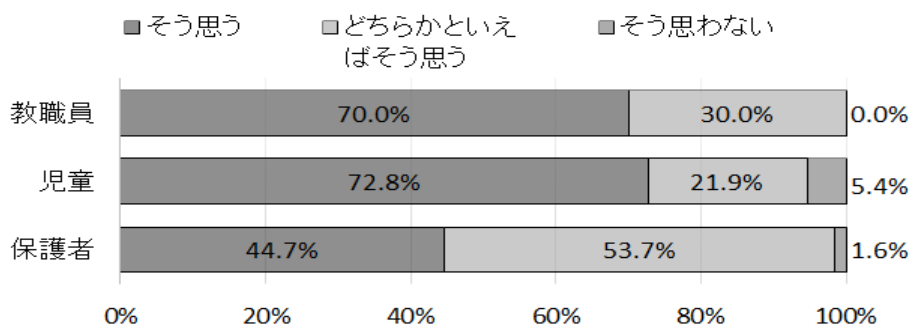
児童・保護者ともに、過去5年間で最も良い結果となりました。子ども達が一生懸命そうじに取り組んでいることがこの結果に繋がっていると感じます。施設・設備の老朽化に伴い、見た目に「きれい」と言えない点もありますが、教育委員会と協力して、一生懸命整備に努めています。今後は状況を確認し、地域のボランティアの方々の協力を得ながら、より良い教育環境を目指し、安全面はもちろん、きれいな学校をめざしていきます。

- (9) 教職員・保護者：学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいると思いますか。
 児童：先生は、学校やクラスでいじめがないようにしていますか。



いじめのない学校づくりの設問では、児童・保護者ともに、過去5年間で最も良い結果となりました。特に保護者回答が、過去5年間着実に向上してきています。心配される方の割合は、教職員や児童よりも多いのですが、年々その差は縮まってきています。今後も、学校では、いじめはいつでも、どこでも起こり得るものと認識しながら日々の教育活動を行うとともに、いじめ防止に特化した取り組みも行っています。引き続き力を入れて取り組んでいきたいと思っています。

- (10) 教職員：保護者は、学校との連携に努力していると思いますか。
 児童：あなたは、おうちの人に学校の話をしたり、学校からの手紙をちゃんとわたしたりしていますか。
 保護者：ご家庭では、学校との連携にご協力いただきましたか。



今回のアンケートで、保護者の肯定的な回答が最も高かった設問です。学校にご協力いただき、本当にありがたく感じます。特に今年度はコロナ禍の中で、例年になく取り組みがあったり、逆に例年の行事がなくなってしまったりと、模索しながらの取り組みでしたので、昨年度以上に、地域学校協働本部コーディネーターの活動に助けられました。また、今年度より、メール機能を活用したお手紙の配付をするなど、保護者の皆様への情報が行き届くような対策を進めて来ました。今後も家庭との連携が深められるよう、進めていきたいと思っています。

なお、設問内容は学校が目指すべき姿と考えております。その達成状況を昨年度と比較できるように、設問内容は昨年度とほぼ同じにしています。

2 全体を通して

下の表は、過去5年間の児童と保護者の回答について、肯定的な評価（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）の数値を合わせたものです。特に児童については、多くの設問で、今年度がこれまでで最も良い結果となっています。

太字は保護者と児童が5年間で最も良い数字を表します

番号	項目 ※（ ）は児童の項目	回答者	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
(1)	楽しく学校に通っているか。	児童	90.2%	92.0%	96.5%	96.7%	96.1%
		保護者	94.6%	95.0%	96.6%	97.1%	97.3%
(2)	あいさつをよくしているか。	児童	88.5%	91.0%	95.2%	94.8%	96.9%
		保護者	87.0%	76.7%	81.7%	81.0%	76.1%
(3)	思いやりや社会性を育てようとしているか。 (約束を守り、友だちと協力しているか。)	児童	93.2%	95.1%	96.4%	97.3%	97.8%
		保護者	98.1%	96.5%	98.0%	97.8%	96.5%
(4)	わかりやすい授業を行っているか。	児童	91.9%	95.9%	98.3%	99.0%	98.4%
		保護者	91.9%	94.1%	97.8%	97.3%	98.4%
(5)	個の特性に応じた支援をしているか。 (気持ちや力に合った手助けや指導をしているか。)	児童		92.7%	97.7%	98.2%	98.6%
		保護者		81.1%	88.6%	88.6%	90.0%
(6)	子どもの安全を守るように努めているか。 (自分の身の守り方がわかったか。)	児童	93.7%	96.1%	97.8%	99.1%	99.6%
		保護者	96.2%	97.1%	96.5%	96.4%	98.2%
(7)	子ども、保護者、地域の話丁寧に聞こうとしているか。 (悩みごとの相談にのったり、いろいろな話を聞いてくれたりするか。)	児童	88.0%	92.4%	97.0%	98.8%	98.3%
		保護者	91.9%	92.5%	96.2%	95.9%	96.6%
(8)	教育環境を安全できれいに整えているか。 (一生懸命そうじして学校をきれいにしようとしたり、学校のものを大切に使用しているか。)	児童	94.6%	95.1%	98.5%	98.6%	98.6%
		保護者	94.3%	94.5%	96.2%	95.8%	96.6%
(9)	いじめのない学校づくりに取り組んでいるか。	児童	91.4%	93.7%	97.8%	97.5%	99.0%
		保護者	88.9%	88.9%	93.9%	94.2%	95.3%
(10)	学校との連携に協力したか。 (学校の話をし、学校からの手紙をちゃんとわたしているか。)	児童	89.5%	90.2%	94.3%	94.5%	94.6%
		保護者	95.5%	96.1%	98.0%	98.4%	98.4%

今年度は、「子ども・地域・保護者に愛され、誇りとなる学校」を目指し、保護者や地域の皆様と手を携えて教育活動に取り組んでまいりました。それらが今回のアンケートの結果に良い成果となって表れたと感じ、率直に良かったと思っています。

しかし、学校に楽しく通っていないと答えた約3.9%（30名）の児童を含め、各設問において「そう思わない」と回答した児童は気になります。お子様が生き生きと学校生活を送っていないのであれば、保護者や地域の皆様の学校への信頼が薄れてしまうと思います。日々の教育活動の中で見守りながら、「そう思わない」のゼロを目指し、より丁寧な指導、個に応じた寄り添った対応を、さらに進めていかなければいけないと考えています。引き続き保護者・地域の皆様のお力をいただきながら、より「地域に開かれた学校」を目指してまいります。

なお、学校経営に関するご意見・ご感想はいつでもお受けし、よりよい西初石小学校にしていきたいと考えています。今後ともよろしく願いいたします。